

サイファイ研究所 ISHE 主催

<http://science-he.blogspot.jp/>

第6回 カフェフィロ PAWL プラトンの『パイドン』を読む

講師：矢倉英隆

(サイファイ研究所 ISHE & フランソワ・ラブレール大学)

日時：2017年10月20日(金)、18:30~20:30

会場：ルノアール・飯田橋西口店 2号室



東京都千代田区富士見 2-2-6 今井ビル 2階

電話：03-5226-6345

参加費

一般：1,500円、学生：500円

飲み物(コーヒー/紅茶)が付きます。

終了後、参加者の懇親を兼ねた会を予定しています。
参加を希望される方は、she.yakura@gmail.com までお知らせください。

講師の紹介と挨拶



講師： 矢倉 英隆

HP： フランスの哲学的生活 (<http://hidetakayakura.blogspot.com/>)

-
- 2007年、東京都医学研究機構（現東京都医学総合研究所）で免疫学の研究生活を終える
 - 2007年～2015年、パリ大学大学院で科学と医学の哲学を学ぶ
 - 2011年、科学から人間を考える試みとして[サイファイ・カフェSHE](#)を始める
 - 2012年、雑誌「医学のあゆみ」にエッセイ『[パリから見えるこの世界](#)』の連載を始める
 - 2013年、[サイファイ研究所ISHE](#)を設立
 - 2014年、生き方としての哲学を語り合う[カフェフィロPAWL](#)を始める
 - 2016年3月、新たに[サイファイ・カフェSHE 札幌](#)を始める
 - 2016年9月、フランソワ・ラブレール大学で科学と医学の哲学研究を始める
 - 2017年6-7月、科学者が科学を文化にする[サイファイ・フォーラムFPSS](#)とフランス語のテキストを読み哲学する[ベルクソン・カフェ](#)を始める
 - 2017年9月、パリにおいて [Sci-Phi Café à Paris \(パリカフェ\)](#) を始める
-

前回、ソクラテスの死の意味について考えましたが、その過程でもう少し議論すべきところがあると感じました。今回はその欠けていた部分を補う意味で、プラトンの『パイドン』を読み直すことに致しました。この副題は「魂（の不死）について」となっています。人類の歴史において常に問題にされてきた心と体の問題をソクラテスやプラトンはどのように考えていたのでしょうか。講師が彼らの考えを紹介した後、参加者の皆様に議論を進めていただきます。今回も始まる前には想像もできなかったような展開を期待したいと思います。興味をお持ちの方の参加をお待ちしています。